

(0日本史Bプリント 1-1)

第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり

a. 日本列島と日本人 (p5)

①人類の誕生・・・[1 500]万年前（[2 鮮新]世 約500万年～180万年前）
[3 猿]人 特徴：[7 直立二足歩行] [4 道具使用] をきっかけに類人猿から分離

以後、[4 原]人 → [5 旧]人 → [6 新]人（現生人類）へと進化

②[7 更新]世（約180万年～1万年前）

特徴：[8 氷]期と間氷期をくりかえす時代（[9 氷河]時代）

氷期＝[A 海面の低下]がすすむ（最高時は100メートルも下がる）

すると、B 日本列島が大陸と陸続きになる

→ 大型動物を追って、C 人類が日本列島へ移動してくる

※日本の化石人類……明石人、[10 浜北]人（静岡）、[11 港川]人（沖縄）（p6）

その特徴は、12 横幅の広い 顔、身長は13 低い

[14 中国]南部の柳江人などと共通＝[15 古モンゴロイド]系

b. 日本の旧石器時代 (p6)

日本の旧石器時代…1949年、群馬県[16 岩宿]遺跡※調査で発見される。

※ [ウ 相沢忠洋] が [17 更新世] の地層から打製石器を発見したことがきっかけ

<石器時代> 旧石器時代…[18 打製] 石器のみを使った時代、狩猟と採集のみの生活

新石器時代…[19 磨製] 石器が出現した時代、農耕・牧畜が始まる

打製石器… 石を打ち欠いてつくった石器 磨製石器…打製石器を磨き刃を鋭くした石器

→以後、5000カ所にわたる遺跡＝[エ 旧石器]時代（[オ 先土器]時代）の存在が確認される

この時代の人々は D 狩猟と植物性食料の採取 によって生活する（p7）

[E 10]人前後のグループで小河川の流域など一定の範囲内を F 移動 する生活

c. 縄文文化の成立と生活・信仰 (p7～p8)

①約 [20 1万] 年あまり前 [21 完新] 世の開始、地球の [22 温暖] 化する

<世界が暖かくなると> 現在より3～5メートル上に

・[23 海面上昇]（海進）がすすむ→ 24 日本列島が大陸から分離
→浅い海（入り江や遠浅）が広がる→[カ 貝類] ※などの採取や漁労が活発化
※縄文時代の住居とともに多くの[キ 貝塚]がのこる。

・動きのにぶい[ク 大型動物]が絶滅、動きの速い[25 シカ・ウサギ]などの動物が増加

・植生の変化→ [26 木の実]（クリ・クルミ・どんぐり）や根茎類（ヤマイモ）などが豊富に
<道具の発達>
動物を捕らえるために→[27 弓矢]の発達・落とし穴

木の実などの[ケ 貯蔵]と[コ 調理]→[サ 縄文土器]や[シ 石皿・すり石]
「土器は壺であるとともに[ス ナベ]なのである」

[セ 漁労]の活発化→釣り針・銚などの[ソ 骨角器]や 網 の使用

[タ 丸木船]の使用… [チ 外洋航海術]を持っていたことを示す。

定住化の進行・・・木材伐採や丸木船製作のため[ツ 磨製]石器の出現

②[28 縄文]文化の成立（約[29 13000]年前）

縄文文化とは、[テ 13000]年前に成立し、[ト 縄文土器]と[チ 磨製石器]（新石器）を使用し、[ニ 定住性]の高い[ヌ 狩猟・採集]生活を特色とする文化

磨製石器や土器を用いる面では[ネ 新石器]時代だが、牧畜・農耕といった[ノ 生産]経済が進んでいない点では[ハ 旧石器]時代的である。

→ちなみに、縄文土器はト 世界最古の土器の一つ

③縄文時代の「農耕」… [30 クリ] 林の管理・増殖、[31 マメ] 類などの栽培といった原始的な [32 農耕] の存在が指摘されるようになった。